

昭和中期

須磨海浜公園内に須磨水族館が開園、鉢伏山に須磨浦山上遊園が開園、須磨離宮公園・須磨海釣り公園など多くのレジャー施設ができ、たくさんの人でにぎわっていました。



須磨海浜公園 (昭和30年代)



須磨浦ロープウェイ (昭和30年代)



国民宿舎須磨荘 (昭和30年代)



須磨ビーチハウス (昭和30年代)



須磨水族館 (昭和30年代)



旧国鉄須磨駅前 (昭和30年代後半)



須磨離宮公園 (昭和40年代)



天神橋を走る市電 (昭和40年代)



国道2号を走る市電 (昭和40年代)

昭和後期

ニュータウンの開発、神戸市営地下鉄の開通に伴い、北須磨地域は文教・スポーツ地区として発展しました。また、学校や公共施設、ショッピング・ゾーンが整備され、須磨区の人口は飛躍的に増えていきました。



板宿商店街前 (昭和40年代)



離宮道 (昭和40年代)



第1回神戸まつり須磨音楽の森 (昭和46年)



衣掛町付近の街並み (昭和40年代)



須磨海浜公園 (昭和40年代)



海釣り公園 (昭和40年代)



須磨ヨットハーバー (昭和50年代)



天井川公園 (昭和50年代)



ユニバーシアード神戸大会 (昭和60年)



須磨海水浴場 (昭和60年代)